



アニマル新聞

令和5年2月発行

一歩先進

川崎校隆盛くん

川崎校には、人にすこーしだけ慣れたモモイロインコのももちゃんがいいます。一昨年の4月から川崎校の仲間入りをして、2年かけて隆盛くんが根気強くモモちゃんに寄り添った結果、モモちゃん隆盛くんが1番大好きです。最初とてもカミカミで、中々ゲージからも外に出すのが難しかったモモちゃん。最初は、ケージの中で手を挙げてひまわりの種をもらおうという芸を覚えさせておりました。その次に少しずつ外に出してあげたり、外でナデナデしてあげたりと手を犠牲にしながらもゆっくり、ふれあいを繰り返してきました。隆盛くんは「噛まれるけど、触りたいのは、杉ちゃんの影響」だと。板橋校の真斗くんです。彼は、あまり慣れない爬虫類やミニアキヤツトが大好きです。



2人は同級生で1年生の時は板橋校で共に学んだ仲でもあり、年に1回は野生の青大将を探しに湿地に探検しに行く親友です。話がそれましたが、川崎校のモモちゃんは、隆盛くんの頑張りもあり、少し慣れたきたら、いろいろな生徒も触ってもらったり、遊んでもらったりと今では、ゲージの外に出して欲しいアピールをして入口で待っている健気なモモちゃんです。そして後を継ぐのは頑張り屋な一年生の大翔くんです。現在はモモちゃんと仲よし作戦実施中です！このお話はまた今度★



動物豆知識 マーラ

マーラのカップルに赤ちゃんが誕生しました。マーラは南アメリカに生息し、草を食べて生活する動物です。顔や耳はウサギの様な、脚は細長くシカのような姿です。そんな不思議な見た目ですが実はモルモットや世界一大きな齧歯類（ネズミ）であるカピバラの仲間です。そして一度オスとメスがカップルになると一生一緒に添い遂げます。子育てもオスとメスが協力して行う、とても仲よし家族な動物です。妊娠期間は10日前後で、ハツカネズミが20日程ですから、マーラの妊娠期間は他の齧歯類に比べて長いです。産まれた赤ちゃんは、しつかり毛が生え揃い、目も完全に開き、すぐに歩き始めてお母さんのおっぱいを飲みはじめます。赤ちゃんの姿は、まだ親のように脚が長くなくて体に対して頭の大きさが大きいので、まるで本当に小さなウサギの様です。生後2ヶ月程度までは草ではなく、お母さんのおっぱいだけを飲んで大きくなります。



親はグググ、グーと低い声なのですが、赤ちゃんにはピキュー、ピキューと高い声で鳴きながら両親の周りを歩き回っています。好奇心旺盛な性格のようで両親から少し離れた所へも歩いて出てきたり、両親が食べている草やペレットをまだ食べられないのに覗き込んで眺めたりしています。これからの成長が楽しみです。



掛川花鳥園研修

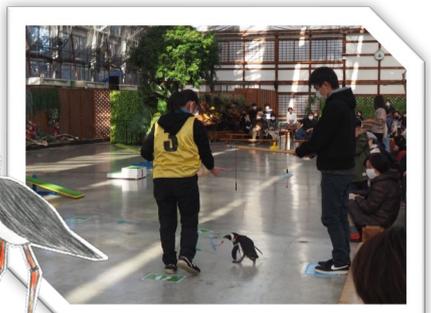
12月20日に掛川花鳥園へ研修に行ってきました！

掛川花鳥園の一番の魅力は鳥と人との距離がとても近いことで、生徒たちに鳥にもっと興味を持ち、触れ合ってもらおうチャンスになると思い研修に行くことになりました。

入園したらまずは気になる鳥のスケッチです。掛川花鳥園はたくさんの鳥が放鳥されているため、生徒たちは珍しい鳥たちを仕切り無しの近距離で観察したり、写真を撮ったり、エサをあげたりして



とても楽しそうに触れ合いながらスケッチする鳥を探していました。綺麗な花に囲まれて昼食を食べた後はバードショーです！掛川花鳥園の鳥たちがそれぞれの特技をお披露目してくれます。お客さんもバードショーに参加できるため、積極的に手を挙げて参加している生徒たちが見られました。間近で見る鳥の特技や迫力、可愛さに目を輝かせていました。



バードショーの後は飼育員さんに生徒たちの質問にたくさん答えていただきました。鳥の豆知識や特徴、就職に活かせるお話、飼育のコツなどためになる話もたくさんしていただき、興味を持って楽しそうに聞いていました。生徒たちも積極的に質問をし、とても勉強になる有意義な時間を過ごせました。講義が終わった後も飼育員さんに話しかけて質問をしている生徒も見られ、積極的に新しい知識を吸収していました。

今回の研修を通して、生徒たちにも良い変化が見られました。学校での飼育でも鳥達の健康管理を以前よりも気に掛けるようになったり、ケージから出して触れ合ってみたり、研修で学んだ知識を活かして芸を覚えさせたりと、鳥たちに興味を持って関わりを多く持つようになってきました。研修が良い刺激になったようで鳥も先生たちもにっこりです！



校舎紹介

沼津校

こんにちは沼津本校です
 昨年に新しく学校に来た子やぎのぼーちゃんとの初めてのお散歩を学生達と行いました。最初ぼーちゃんも初めての外におっかなびっくり緊張気味に歩き出していました。だんだん慣れてきたぼーちゃんは落ち葉を探してパクパク食べはじめました。
 学生達とはヤギ小屋掃除の時にこれからも仲良くやって行くでしょう。



板橋校

皆さんこんにちは！板橋校です。
 今回は、学生が今頑張っていることを紹介したいと思います！去年の5月頃に板橋校にやってきた、タイハクオウムのモコちゃん。そんなモコちゃんのことをご考慮、行動してくれる優しい心の持ち主です。一輝くんは学校に来ると必ずモコちゃんに挨拶をし、元気に過ごしているかを気にかけてくれます。また、モコちゃん好きなことからお家でタイハクオウムについてたくさん勉強し、私たち講師陣にも嬉しそうに教えてくれます！その時の一輝くんの目はとてもキラキラしており、ぜひ皆さんにも知っていただきたいなと思います、今回取り上げました！



ちなみにモコちゃんの一番好きな人は沼津校の梅田先生。撫でるだけでなく、肩の上で楽しそうに踊るモコちゃんを見て、いつかそうなりたいと一輝くんも頑張って登校しています。

今はケージから出てきて、なでなでするだけです。いつかはモコちゃんが一輝くんの肩の上で楽しく踊っている姿を見るのが楽しみですね！その時が来たら、アニマル新聞でまたお伝えしたいと思っています！
目指せ、モコちゃんマスターー！！



川崎校

こんにちは、川崎校です。川崎校には、他校より比べ体の大きな爬虫類がいるため、毎日約3kgの野菜、果物を切っています。それぞれ体の大きさに合わせて量、切り方を変えています。最初の頃は何度も先輩やスタッフに確認しながら切っていましたが、今では自ら考えながらエサ作りができるようになりました。最近、分量で野菜ピツタリ計ることができるようになり、できた時は嬉しそうに報告してくれ、私たちも嬉しくなります。また、作業スピードもはやくなり、慣れてきていることを生徒たち



も私たちも実感しています。もうすぐ新1年生も入ってくるので、教わったことを教えてあげられる生徒たちを見るのが楽しみです。



川崎西校

こんにちは。川崎西校です。毎週木曜日の午後に座学をやっています。普段は飼育の実践で先生と共にバタバタと動き回っている学生達ですが、この時ばかりは席に着いて先生の話を受けます。先日、この座学の講師を就職活動を控えている3年生の雄大くんを実施してもらいました。就職活動では動物の知識や飼育の技術に関する事や接遇のスキルが問われるだけではなく、自分の考えを発表したり文章にまとめる機会が多くあります。3年間で培ってきた動物飼育の知識を人に分かりやすく伝える練習になればと思います。彼に講師をお願いしました。座学のお題はケツメリクガメとヘルマンリクガメ。どちらもリクガメの中では代表的な種です。肝心の授業の出来はと言うと、流石3年生と思わせられた素晴らしい内容でした。このリクガメ2種は学生も

普段から飼育して携わっている、分類や生息地、食性などの基本的な事はさらっとおさらい程度にとどめて、ハイブリッド種であったり、2種の適した湿度の違いや、習性、ヘルマンリクガメの3亜種の違いについての解説など、飼育入門書を読むだけでは得られないマニアックな情報満載でした。難しい内容もありましたが時には絵を描いたり、本やインターネットでの写真を活用したりと工夫された解説で分かりやすく他の学生も教員も聞き入っていました。講師をしてくれた彼は、今後就職希望の動物園に研修へ行ったり面接して頂いたり忙しい日々が待っています。夢に向かってしっかり頑張ってもらいたいと思います。きっと春はすぐそこだ！がんばれ！

